

子どもの言葉だが、同年代の子ともよく遊ぶように感じます。

通園センターと通園の教室

①通園センターは、留萌市、小平町、増毛町の1市2町をまかなう早期療育センターです。早期療育を行うことにより児童の発達と母親の悩みについて相談にのっています。

②通園センターでは、どのようなことをしているの？

A 心や身体の発達に不安のあるお子さんに対し、遊びなどを通して、健やかな成長、発達をお母さんと一緒に見守りながら促します。また、毎日の子育ての相談はもちろん、色々なお話をうかがっています。

Q 療育の内容は？

- A 次の3つの指導を行います。
 - ◆個別指導〜一人ひとりのお子さんの発達に合わせた指導を1時間半行います。
 - ◆小グループ指導〜社会性の土台を促す指導を行います。
 - ◆グループ指導〜お母さん達の交流やお子さん達の人への意識を高めながら、楽しく遊びます。

※また、毎月一回母の会「パオ

さくらんぼハウス」が、主体的に遠足、海水浴、ソリ遊びなどの楽しい行事を行います。

②通園を希望する場合はどこに連絡をすればいいの？

A 左記へ連絡してください。
 児童家庭課 ☎42・1808
 通園センター ☎42・1109

②ことばの教室は、就学前の児童を対象に、東光小学校、留萌小学校で開いています。主に発音の指導を行っています。問合せは、各小学校へ連絡してください。

東光小学校 ☎42・1820
 留萌小学校 ☎42・1720

「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん」の世代もはかばかになりませんか。

1歳児の無償配布

留萌市では、紙オムツを使用する0歳児のいる世帯に、ごみ袋（もやせないごみ）を配付しています。この事業は、少子化対策の一環として、紙オムツの処理にかかる経済的負担の軽減を図るため実施しています。

Q どのような手続きをすれば

支給されるの？

A 出生が確認できるもの（母子手帳、出生証明書、印鑑をお持ちになり、児童家庭課または、は1とふるで申請してください。

Q 何枚配付されますか？

A 出生後、1カ月以内に申請されれば52枚支給されます。申請が遅れた場合や、出生後1年に満たない子どもがいる転入者は一定枚数が減じられます。※出生者1人につき1回限りです。

「外泊するときは、子どもを預かってもいいかな。」

ベビーシッター

市内には、民間によるベビーシッターを運営している団体が2つあります。いずれも有料です。

おたすけママクラブ

お母さんが病気の時、仕事で病気のお子さんの看病ができない時などお預かりします。☎43・8722（大長）
 保育サポートあい愛
 お気軽にお電話ください。
 ☎43・4487（大栗）

「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん」の世代も見かけない。

児童虐待を見かけない

最近では児童虐待が社会問題となつています。特に多いのは、養育の放棄と子どもへの暴力です。児童虐待を見かけたら、すぐ地域の民生委員、市役所児童家庭課まで連絡をください。地域で子どもたちを守ろう。児童家庭課 ☎42・1808
 相談電話 ☎42・9100

子育てサポートに関するお問合せはコチラ

留萌市児童家庭課
 ☎42・1808

★児童家庭課では、次の相談を行っています。

- ①児童手当、児童扶養手当の申請
- ②母子、寡婦世帯の自立に関する相談（母子自立支援員）
- ③家庭における児童の福祉に関する相談（家庭児童相談員）
- ④保育所入所に関する事
- ⑤留守家庭児童会の申し込みに関する事
- ⑥子育て支援に関する事
- ⑦母子家庭等へのホームヘルプサービスに関する事。

INTERVIEW

児童家庭課係長の芳賀博康さんに聞いてみました。



—留萌に住むお母さんの「子育て」の現状について教えてください。

いま、子育てをしているお母さん方も地域的付き合いが希薄になる中、子どもに関する相談相手がないため、一人で悩んでいる状況があります。また、育児に関する思うように行かないことに対する精神的なストレスを抱えているお母さん方も多く見受けられます。さらに、家庭内における育児負担が母親に偏っていることによる不満や悩みを抱え込んでいる母親もいます。

まず、母親のストレスの解消方法をどのように行うかを考えていかなければなりません。

—留萌市の制度について

留萌市の子育て制度としては、

子育て支援相談所の開設を各保育園、児童センターで行なっています。子育ての悩みなどがありましたら、どんな些細なことでも相談していただきたいと思います。また、児童センターでは、幼児を対象に親子広場を開設していますので、同じ年齢の子どもを持つお母さん方の交流もできます。

この他にも、発達の遅れているお子さんの相談など子育て全般について相談を受け付けております。子育て支援は行政のみではなく留萌市民全体でどのようなサポート体制を作っていくかによると思います。

—子育てをしているお母さんへメッセージをお願いします。

子どもは、一人の人間として人格を持っています。個々の成長の度合いや性格など100人居れば全部異なります。

よくお母さん方は、市販の育児書を見て成長過程をチェックしている姿が見受けられますが、育児書はあくまでも平均的な成長過程であり絶対的なものではありません。むしろ、参考程度にとどめ、

育児経験者の体験談を聞いた方がより良い対応が見つかるのではないかと思います。また、親は子どもとともに成長するといわれています。子どもの成長過程においていろいろな場面に接することにより、喜んだり、心配したり、深く考えたりしますが、このことは同時に親の心を成長させています。

子どもから親へ親から子どもへとお互いの成長を実感できることと思います。

—平成16年度の体制について教えてください。

留萌市は、新年度から子育て支援センターを末広児童館に開設いたします。

いままでは、保育士が兼務という形で留萌保育所に開設していましたが、新年度からは、専任職員を配置しより充実した事業を展開していきます。また、港北保育所で行っていた通園センターについても新年度から専用施設として展開し療育の集中化と充実が図られます。潮静地区の児童健全育成の拠点として児童センター建設を予定しており、今後、この施設を中心とした事業展開が期待されます。



がんばるママとパパのための

子育てサポート